

栃木労働局長が働き方改革に積極的に取り組む先進企業
“ベストプラクティス企業”を訪問しました！



栃木労働局長
藤浪 竜哉



東京オート株式会社
代表取締役社長
中村 浩志



11月の「**過重労働解消キャンペーン**」の取組として、栃木労働局長が働き方改革に積極的に取り組む“**ベストプラクティス企業**”を訪問し、長時間労働の抑制等の取組について、意見交換を行いました。

小山市に本社を置く**東京オート株式会社**の取組を紹介します。



東京オート株式会社

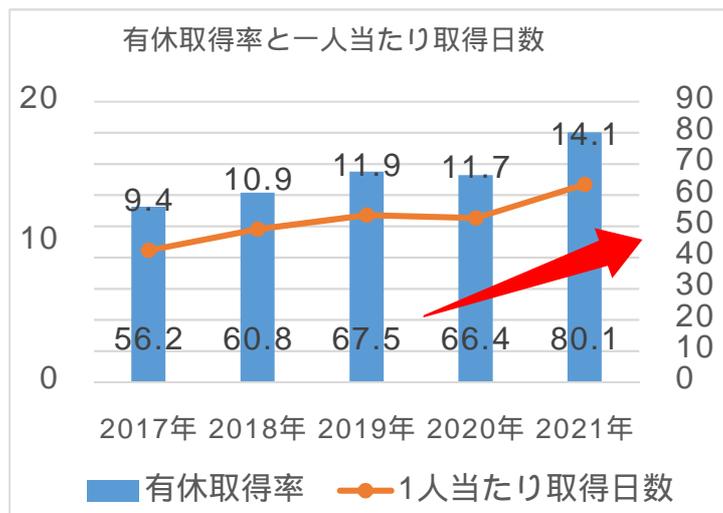
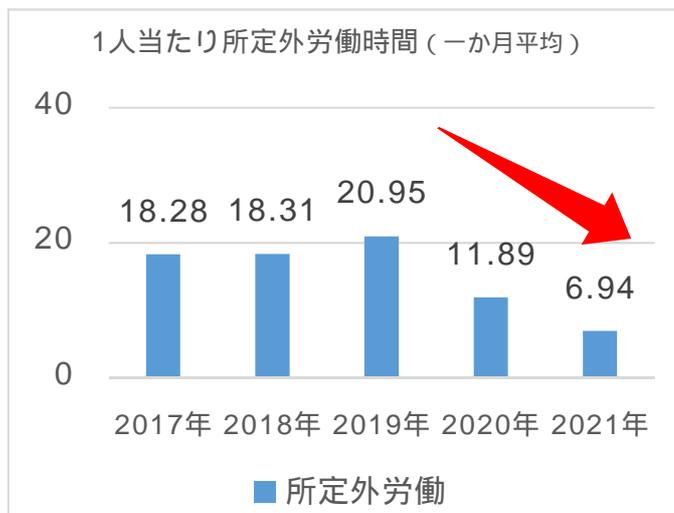
所在地：小山市東城南1丁目16番地4号

従業員：210名

事業概要：

- 新車・中古車の販売
- 車両整備、点検整備、カー部品等販売 等
- 軽钣金、一般钣金塗装、事故受付 等
- 損害保険代理業、婚活事業

<東京オート株式会社の働き方改革による労働時間等の実績>



取組のPOINT

● 従業員満足度調査の実施

従業員の定着化を図る等の狙いから、満足度調査を実施。複数年をかけて、風通しが良く、働きやすい職場環境を形成。



● 『過剰サービス』『販売』の廃止

満足度調査の結果を踏まえ、長時間労働の原因ともなっていた過剰な顧客サービスなどを廃止、生産性向上、作業効率化につなげるとともに、サービスの質の向上を実現

● 実効的な両立支援制度ガイドラインの策定

女性活躍の促進、ワークライフバランスの実現を図る観点から、両立支援制度のガイドラインを整備。

両立支援制度
(育児・介護・療養)
ガイドライン

2019年版



トップ対談



Q：取組みのきっかけは？

● 従業員の早期離職

従業員の定着率が低く、原因解明のための従業員満足度調査を開始。

● 1回目の従業員満足度調査の結果

長時間労働や有給休暇取得率の低さなどの職場環境に課題があることを発見。

改善に向け、従業員のモチベーションを上げ、生産性や作業効率を向上させたい。



Q：取組の成果は？

● 従業員満足度調査

毎年実施しており、満足度は年々向上。主体的に考える従業員が増加。

● 「過剰サービス」・「廉売」の廃止

サービスの平準化で残業時間が減少。

● 「両立支援制度ガイドライン」の策定

ワークライフバランスの実現に向け、労使ともに成長できた。

従業員と懇談

五島さん（入社23年目） 写真中央

- 過剰サービスの廃止は、周りの社員からの反対意見もあったが、質の高いサービスを提供したいとの賛成意見のほうが多かった。
- メリハリをつけて仕事ができるようになったし、有給休暇も取りやすくなった。
- 周りの社員の育休に対する理解が広がった。



大瀧さん（入社12年目） 写真右側

- 妊娠・出産後も安心して働ける環境になってよかった。
- 周りの社員へも育児・介護に対する理解が広がり、子育てしながら働きやすい環境になった。
- 今後は自分が両立支援のサポートを行う立場として、会社に貢献していきたい。

働き方はどう変わりました・・・？

ベストプラクティス企業訪問を終えて・・・

中村社長談話

- 従業員の能力や資質を活かして行く人材育成と、従業員が働きやすい環境と成長できる場を作ることが大切です。
- 今後ともお客様や地域社会、そして一緒に働く仲間たちにとって「かけがえのない存在」になれるように精進してまいります。

労働局長談話

- しっかりと従業員の声を聞き、様々な取組みに反映されていました。労使が一体となっているところに非常に感心しました。
- 従業員が働きやすい職場環境を作ることが、従業員のモチベーションを向上させ、さらに生産性・作業効率を向上させるという好循環を生んでいます。
- 県内企業の皆様には、積極的に職場環境を改善して働き方改革に取り組んでいる企業を知っていただき、自社の取組の参考にしていただきたいと思います。



11月の「**過重労働解消キャンペーン**」の一環として実施
～ 下野新聞社の報道により、県内に広く紹介されました！ ～